

2009年度

科目名	書道科教育法B		
担当教員	永田 誠		
配当	日文3	コード	52200
開期	後期	講時	金曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	教材研究と教案作成を通じ授業の実態を考察する		
目的と概要	教材研究や指導案作成を通して各書体の文字造型や線質を研究し、書の文化や伝統について理解を深めると同時に教材研究を積み、よりよい授業を行うための指導案作成を考察する。		
成績評価法	指導案、レポート、授業態度、出席(2回以上欠席した場合は、単位の取得を認めない。遅刻2回を欠席1回とみなす。)		
テキスト	大阪書籍 書道 I		
参考書	必要に応じて紹介する		
履修に当たっての注意・助言	高等学校で書道を選択あるいは当校2年次において書道A・B、書道史A・Bを選択した者、又は塾等において相応の実力を有する者に限る。		
講義計画			
第1回	名筆や古典を鑑賞し(高等学校教科書)、文字造形の魅力を探り、構成美・流動美を考察する。また、書表現するための用具・用材・書体や書風に即した用筆法・運筆法を、実践を通して学び、授業の展開例を作成する。		
第2回	漢字の書、隸書「曹全碑」を鑑賞・実践し、学習活動の展開例を作成する。		
第3回	漢字の書、篆書「泰山刻石」を鑑賞・実践し、学習活動の展開例を作成する。		
第4回	漢字の書、楷・行・隸・篆書の創作活動を、実践を通して研究し、学習指導案(展開例)を作成してみる。		
第5回	仮名の成立について理解し、仮名の書体や技法を実践することにより、仮名の美を考察する。		
第6・7回	仮名の基本的な筆使い、単体、変体仮名を実践し、展開例を作成する。		
第8回	仮名の連綿について実践し、展開例を作成する。		
第9回	仮名の古筆(高野切第三種)の実践を通じ、展開例を作成する。		
第10回	仮名の古筆(高野切第一種)の実践を通じ、展開例を作成する。		
第11回	仮名の古筆(関戸本古今和歌集)の行の構成を考察し、展開例を作成する。		
第12回	仮名の古筆(寸松庵色紙)の行の構成を考察し、展開例を作成する。		
第13・14回	仮名作品の制作を実践・考察し、展開例を作成する。		
第15回	前時の展開例を各自発表し、話し合う。まとめ。		